

②サルやハクビシンの被害も聞かれますが、有害鳥獣捕獲報奨金は、イノシシ6千円、日本シカ6千円、カラス千円です。有害鳥獣防止柵についても補助制度があります。新規でわな免許を取得する場合には2分の1の補助があります。

### 新庁舎の建設計画について

香美市は庁舎を新築しているが、香南市の計画は？

**A** 市役所庁舎の建設については、合併後5年以内の計画でしたが、老朽化した消防庁舎の建て直しが急務となり、平成24年4月の完成に向けてすでに着工しています。市役所新庁舎について、庁内協議で北庁舎を壊して建設する案などを検討していますが、建設時期は見合わせているところです。今後、経費や利便性などを含め、市民の方にも参加していただき協議していく予定です。

### 市職員の指導について

職員はすれ違っても挨拶をしない。窓口に行ってもすぐ対応してくれない。本庁の総合窓口も、来庁者に顔も上げず下を向いてパソコンを操作している。民間会社なら潰れている。どのような指導をしているのか。

**A** 特定されれば本人に直接指導します。来庁された市民の皆さんに気持ちよくお帰りいただけるよう、庁議(管理職の定期連絡会)などでも課題を共有し、接遇指導を徹底していきたいと思えます。

⑧給食センターの視察が実施されたようだが広く知らされていない。検討委員会や市議会議員が行った視察の報告をしてほしい。  
⑨食べ物生命を維持する基本的な素材。新しい給食センターでは、安全な食の品質管理をお願いしたい。  
香南市の農家が香南市の子どもたちのために、安心な食料を育てて給食に提供するという意気込みのある仕組みづくりなどができたらすばらしいと思う。

**A** ①各地区の説明会が終わりましたので、その内容と更にアンケート等で保護者の意見を吸い上げて検討委員会としての方向性を決定し、市長に提出します。  
②これから検討委員会の中で望ましい形を検討し、市として責任ある判断に繋がります。  
③三役、教育委員会でも全ての給食を食べ回りましたが、優秀はございませんでした。また、この給食も栄養士が栄養のバランスや必要なカロリーを考えてメニューを作ってくれていますのでその差はございません。  
④規模が小さい方がやりやすいというのは分かりますが、統合になったとしても、できるだけ今の質は落とさないよう研究し、むしろ衛生環境面を充実させて地産地消についても今以上に窓口を広げていきたいと思っています。  
食材の納入についても現在納入していた地元の業者さんを減らさないような措置をいくつか取りたいです。

## 山南地区

参加者 33人

### 堀ノ内地区工業団地の進捗状況

①堀ノ内地区の工業団地の進捗状況を報告してほしい。  
②香我美町も、若い人は出て行って年寄りしかいない地域がある。工業団地には、地元優先の雇用をお願いしたい。

**A** ①地元説明会も開催させていただきました。したが、用地買収を進めるにあたり高知県が香南市土地開発公社に業務委託し(平成22年11月1日契約締結)、土地開発公社主体で買収契約をしています。前段として地権者の方たちには協力をお願いし、現在、契約作業を進めており、できる限り早い時期にめどをつけたいところです。

②今までの企業誘致と同様、できるだけ地元の方を雇用してほしいということを進めています。

### 高齢化がすすむ地域

若い年代は出ていき、子どもが少なく、横のつながりがなくなると部落の行事もほとんどない。今のまちづくりは60〜70代の人を中心で、次の世代が育っていない。人材をいかに育て、いかにして地域を発展させていけばいいのか。

**A** 市内全域でそのような傾向があり、野市町などでは若い世代がいても市外に勤めている世帯が多く、なかなかまちづくりには参加していただけないようです。

統合になった場合に懸念されておられる栄養教諭や給食センターの職員数のカットということについては同じ職員数で対応していく計画です。検討委員の中には、栄養士さんや調理員さんもおられますので、今後たくさんの意見の二つ一つについて十分に検討をしていきたいと思います。  
⑤各地区説明会のテープ起こしなどの作業を取りまとめ、4つの作業部会の詰めができておりませんでしたので、両方の資料を整えてから検討委員会を開催します。

⑥(昨年)12月7日から学校給食に関する保護者アンケートにより皆さんのご意見を聞き、1月22日には小・中学校の連絡協議会の総会があります。保育・幼稚の保護者の皆さんにも呼びかけ、その場で検討委員会の経過報告や保護者の皆さんからの意見を聞く時間を設けます。

⑦検討委員会の中で、いろいろなご意見がありますので多角的に検討していきます。  
⑧広報などで報告させていただきま

⑨無農薬、有機栽培の食料を、給食分集めるのはなかなか難しいということで、品質管理について信頼できる農協、市場にお願ひすることになろうかと思ひます。

できれば給食センターの食料は、全て香南市産にしたいところですが、現在の状況では難しいので足りない食料については高知県産、そして国内産ということになります。

ただ、地域の食料を少しでも多く使えるよう農協や市場、直販店等とも協議して

現在、各地域からの健全なまちづくりを目指して全職員を市全域に地域担当として配置しています。そういった取り組みからも地域の実情に沿って活性化を図っていきたくと思っています。

### 給食センター建設問題

(山北地区でも質問あり)

①給食センター建設の動きは、どうなっているのか？  
②統合給食センターになるのか？  
③ケーブルテレビの給食センター特集の中で、夜須と野市の給食の映像が流れた。断然、夜須の方が豪華で、野市の方はこれで子どもが本当に満腹になっているのか疑問を抱いた。統合したらこんなになるのかと思うと非常に不安だ。  
④食は家庭が一番影響力があるのかもしれない。しかし、今は孤食が増え、そのような子どもたちのためにも質の高い給食が必要だ。施設が大きくなれば冷凍食品が増え、地元の業者が潰れ、いずれは委託になる。ぜひ、この問題を真剣に地域の方も一体となって考えてもらいたい。  
⑤検討委員会が7月以降、活動していないが、それはどうしてか？  
⑥もう一度、保護者の声を聞く場を持つてもらいたい。  
⑦統合だけでなく色々な方法で検討してほしい。

いますので、皆さんのご知恵をお借りしながらより良い給食のために、できることを考えていきたいと思います。

## 岸本地区

参加者 19人

### 市職員の地区担当者制の在り方

岸本は事業も多いが地区担当職員をほとんど見かけない。岸本地区の担当14人のうち、今日の懇談会には3人、その他の行事でも4〜5人程度。市の職員は地域に対してもっと積極性がほしい。

**A** 職員には公の視点を持った市民の一人として、地域での役割を果たしてほしいと思っています。

地区担当者制は各地域の健全なまちづくりを支援するもので、旧香我美町に倣って全地域へ全職員を配置しました。現時点では職員の認識に個人差があり、基本的な意識の統一を図る必要性を感じているところです。まちづくりの成熟度や地域の特性によっても関わり方が違ってくると思います。香我美町は基本的な組織(まちづくり協議会)ができていますので、担当職員には各協議会の実情に合わせた積極的な活動支援を促しています。

